

普及活動情勢報告（令和3年5月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

集落営農法人の設立に向けて ～法人設立準備委員・営農会議委員合同会～



合同会議の様子

4月27日、四万十町米奥集落で法人の設立に向けて、関係機関の参加の下、法人設立準備委員及び土地改良区営農会議委員から7名が集まり、合同会が開催されました。

本会は定期的に行われており、今回普及所からは、現在活動している任意組合と法人の違いや、設立に必要な書類等を具体的に説明し、手続き方法等が理解されました。

今後は発起人会で定款や規程、営農計画等を協議し、ロードマップに沿って来春に設立できるように引き続き支援していきます。

再度確認！ 夏秋ピーマンの病害虫 ～夏秋ピーマン部会病害虫講習会～



講習会の様子

5月20日、JA高知県四万十夏秋ピーマン部会は、令和3年度の病害虫講習会を開催し、23戸24名の生産者が参加しました。

普及所からは、夏秋ピーマンの栽培に注意の必要な病害虫や、病気の感染するメカニズム、今年取り組むGAPについての説明を行いました。

参加者は新規生産者からベテランまで栽培経験は様々ですが、病害虫対策について、再確認されました。

普及所では今後も、各関係機関と連携し、現地検討会などの活動を通じて、夏秋ピーマンの品質向上、収量アップを支援していきます。

食品の営業許可制度が大きく変わります ～営業許可制度の見直し・HACCP研修会～



研修会の様子

4月27日、四万十町の直販所等へ加工品を出荷している農業者などを対象に、制度の改正内容や手続きについて須崎保健所担当者を講師に招き、窪川、大正の2会場で研修会を開催し、99名が参加しました。

改正によって新たに許可や届出が必要になる方などに普及所が企画して呼びかけました。参加者からは「制度の内容がわかった」「高齢者では衛生管理計画などは大変、作成方法を教えて欲しい」などの声がありました。

普及所では、今後も保健所などと連携し、制度の周知やHACCPに沿った衛生管理計画の作成などの支援をしていきます。

経営面談で経営改善を

～ミョウガ部会員に個別経営分析を実施～



経営面談の様子

5月12日、13日、JA高知県興津支所でJA高知県四万十ミョウガ部会員を対象に経営分析面談会を行い、同部会員34名が参加しました。

JA高知県四万十営農経済センターと合同で実施しているコンサルティング活動の一環で、税務申告書類と出荷データに基づいて作成した経営カルテを使い、部会平均より経費が多い費目を指摘したり、出荷量を増やすための作型の変更や栽培管理・病虫害防除等について普及員とJA職員が相談対応しました。

普及所では、今後もJAと連携し、データに基づいた経営指導を実施していきます。

苗半作！ 育苗現地検討会の実施

～JA高知県四万十エコ栽培米生産部会～



現地検討会の様子

5月17日、JA高知県四万十エコ栽培米生産部会の育苗現地検討会が開催され生産者9名が参加しました。

普及所からは、育苗期の病気の発生要因や対策についての説明と高知県版GAPの点検シートによるチェックを行いました。

生産者からは「あと何日で植えれそうか？」などの質問があり、‘にこまる’と‘ぴかまる’の苗の生育状況をみて移植適期を参加者で確認しました。

普及所は、今後もJAと連携しながら、ブランド化を支援していきます。